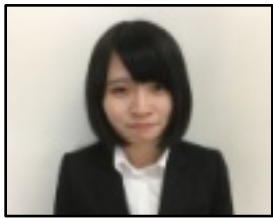


北海道福祉大学校

就職内定

学生の喜びの声を紹介します



精神保健福祉学科
佐藤 歩子

春から「医療法人社団立青会なるかわ病院」で精神保健福祉士として勤めさせていただく事が決まりました。なるかわ病院では、多様なニーズに応えるための体制や地域性を活かしたデイケアのプログラムなどが充実しています。

私は実習で患者の様々な生活課題を知り、患者を尊重してニーズに応えていける精神保健福祉士になりたいと強く思いました。また、支援には様々な知識も必要である事を痛感し、学びをさらに深めていこうと決意しました。

なるかわ病院で、講義や実習で学んだ知識や体験を活かすと共に向上心を常に持ちながら患者に寄り添った支援をしていきたいと考えております。



精神保健福祉学科
山内 典子

4月から、「特定非営利活動法人あずまの家」にて精神保健福祉士として勤めさせていただきます。

くことになりました。あずまの家は、地域活動支援センターまる商などは、就労継続支援B型事業所シフォン亭ほやほや、相談支援事業所相談室ほくほく、グループホーム等を運営しており、今後、法人内でのいろいろな仕事を経験できると思います。その中で、精神保健福祉士としての幅広い知識と経験を得て、専門性の高い支援や利用者の方に寄り添い個性を大切にしたい関わりができる精神保健福祉士になれるよう、日々努力を重ねてまいります。



社会福祉学科4年
柿田 和樹

4月から、「医療法人社団札幌花園病院」で精神保健福祉士として勤めさせていただきます。

春から一人の精神保健福祉士として、この学校で学んだ知識や技術を活かし、精神疾患を抱えた患者様の入退院後の生活について、ご本人とご家族様に安心してもらえる支援ができるように、日々考え、精進して行こうと思っております。



社会福祉学科4年
阿部 紘希

4年間は、長い様であったという間でしたが、滝川からの通学は大変でしたが、母が自分より早く起きて弁当を作ってくれ、父が駅まで送迎してくれるなど、両親にも苦労をかけてしまいました。そのおかげもあり、地元での就職先も決まり、国家試験の勉強では悔いを残さずやりきることができました。

また、4年間、先生やクラスメイトと楽しみや辛さを共有してきた事は私にとって大きな支えとなり、ここまで頑張ることができました。



介護福祉学科2年
横尾 遥花

私は就職活動中、1年次の介護実習でお世話になった「社会福祉法人愛安全会」介護老人福祉施設サン・グレイスの職員さんと偶然会い、就職を勧めたのがきっかけとなり、就職試験を受けて法人から内定を頂きました。

就職活動を行って感じたことは、面接試験のためだけの練習ではなく、自分は4月から社会人になり、その施設で働くという自覚を持つこと、自分の気持ちを素直に表現することが大切だということです。そして今後の抱負としては、自分自身が楽しみながら働くことで、利用者様が少しでも楽しいと思ってくれたらと思います。



介護福祉学科1年課程
小原 優也

「社会福祉法人台東区社会福祉事業団」の特別養護老人ホームに就職が決まりました。東京の環境や仕事内容など、慣れるのは大変だと思いますが、一生懸命に取り組み、職場に早く馴染めるように頑張りたいと思っています。学校で学んだ介護技術は基本であり、実習では利用者それぞれに応用する大切さを学びました。その応用力を生かして、介護福祉士として働きたいと思えます。職員や利用者として関わり、信頼関係を築いていきたいです。



福祉保育学科2年
宇佐美 朱莉

私は、自分の実習園であり、出身園でもある「南幌みどり野幼稚園」に内定をいただきました。

試験当日は緊張してしまい、不安もありましたので、内定をいただいた時は、とても嬉しく思いました。春からは、先生と呼ばれる

校長 大山 節夫

「不安を自信に変えながら」

時は、絶えず移りゆくものです。私達は「現」、つまりは現実に生きています。「現」の語幹「うつ」は「うつ・る」と同じです。「移る、映る、写る」等は、使い方は違いますが、場所が変わること、風景等を画面に映し出すことなど、あるものをある場所に移動させていることには変わりはありません。よって、「現」=「現実」の定義も「移動」となるのです。私達は、絶えず移りゆく時の中に生きています。宇宙飛行士の山崎直子氏は、「ライト兄弟の動力飛行機開発から100年もしないで飛行機旅行が可能になった。宇宙旅行時代もすぐそこ。」「宇宙は特別なものでなく、立ち向かっているのは全て人間。」と語っています。昔々、鼠に噛まれた傷口に、猫の糞を煎じて塗り込ませた時代があったとか。私の幼少時でも、盲腸で亡くなった方がいました。今や、山中教授が開発したIPS細胞は、多くの人々の未来に確かな灯りをともししています。こんな移りゆく時の中、君達は、しつこいくらい泥臭く、君たちと向き合ってきた本校教職員の下で確実に前進してきました。確実に成長してきました。だから、不安を自信に変えながら、また少しずつ、共に歩いて行きましょう。



福祉保育学科2年
田原 日向子

私は、「吉田学園やしの木保育園」に内定を頂き、これで昔から憧れて夢だった保育士になれるのだと思いき、本当に嬉しかったです。それと同時に、これからのことについて不安も感じました。しかし家族の励ましや、いつも支えてくれた先生方からのお祝いの言葉により、一層頑張っていこうという気持ちになりました。

春からは、楽しく嬉しい事ばかりではなく辛い事もたくさんあると思いますが、学んだ事を活かしながら、現場でたくさんのお仕事を学び一杯頑張っていこうと思っております。そして子どもからも好かれ、保護者からも信頼される保育士を目指していきます。

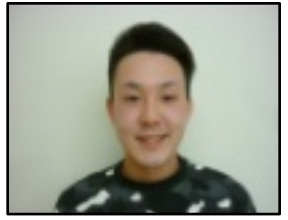


理事長賞の次藤さん(左上)卒業証書代表:介護の半井さん(中央)保育の小城さん(右下)と担任



社会福祉学科

「どんな障がいがあっても」
社会福祉学科3年 谷敷 拓磨



今回の精神保健福祉援助実習で、私は、精神科医療機関のときわ病院で実習させていただきました。実習の中で、たくさんの成長や変化を感じることができました。

その中でも、特に、精神障がいのある方に対する関わり方が大きく変化しました。実習開始前、精神障がいのある方と関わるのは今回が初めてだったこともあり、私は「患者様とコミュニケーションできるだろうか。」
「私の言動や行動でその方の症状を悪化させたりしないだろうか。」という不安を抱えていました。しかし、いざ実習が始まると、「こんにちは」「頑張つてね」「オセロやるよ」など、患者様に多くの場面で声をかけていただくことがありました。このことから、私自身がその方の「精神障がい」という部分が必要以上に注視していたことに気付き、改めて、どんな障がいがあるともその方を一人の人として全体的に捉え関わるということの大切さを実感しました。それから、より自然に、落ち着いたペースで患者様と関わるようになり、不安も少しずつ拭拭していくことができました。

介護福祉学科

「レクリエーション活動を終えて」
介護福祉学科1年 保坂 恵末



私たちは1月26日に有料老人ホーム「イリーゼ札幌南三条」にてレクリエーション活動を行いました。実際に自分たちで企画し、利用者さんを対象としてレクリエーションを行うのは初めてでした。
利用者さんの目線でのようなゲームを企画すると楽しんでいただけなのか、

どのような流れで行ったら良いのかを考えることに苦労しました。皆で案を出し合い、放課後に何度も練習を行いました。

当日は、二拍子三拍子という手を使うゲームと伝言ゲームを行いました。学生は司会進行役と利用者さんのサポート役に分かれ、利用者さんそれぞれで行っていたいただきました。伝言ゲームでは2つのチームに分かれ、早く正しく伝言できたチームを勝ちとするチーム戦で行い、負けたチームはチームにいる学生が罰ゲームで尻文字をするという形で行いました。

手であまく二拍子三拍子が出来なくても、うまく伝言できなくても、利用者さんの笑顔が見られ、私たちの緊張も吹き飛び、利用者さんの楽しんでる様子から私たちが笑顔をいただくことができました。
初めての試みでスムーズにいかない点もありましたが、利用者さんと一緒にレクリエーション活動を楽しむことで、介護福祉士の魅力を感じられる時間を過ごすことができました。

保育未来学科

「実習を終えて」
保育未来学科1年 山内 花鈴



私は、えるむのもり認定こども園で、実習をさせていただきました。今回の実習を通して、子どもの性格や個性を知り、その子に合った言葉かけを行うことの

大切さを学ぶことが出来ました。実習前半は、「一緒にご飯食べよう!」とか「一緒に遊ぼう!」等、私に声をかけてくれる子ども達との関わりに集中してしまい、他の子ども達の思いに気付くことが出来ずにいました。そのことを先生方に相談したところ、なかなか自分から声をかけられない子もいるので、積極的に言葉をかけてあげることが大切だと、指導頂き、実践してみました。そうすると、子ども達がだんだん心開いてくれて、ことがわかり、より深く、沢山の子ども達と、本当の意味で心から関わることが出来たと思えました。また、保育士の仕事には体力がいるので、体調管理には気を付け、子ども達と関わることの大切さも学びました。2週間という長いようで短い実習期間でしたが、雪遊び

平成29年4~6月行事予定

学園行事

4/5(水) 入学式(わくわくホリデーホール)

学校行事

4/3(月) 進級生始業式

4/6(木)7(金) 新入生ガイダンス

4/19(水) 就職セミナー(卒業学年)

5/1(月) 球技大会(きたえーる)

5/8(月) 避難訓練

社会福祉学科・介護福祉学科共通

4/10(月) ICF集中講義(新入生)

5/18(木) 介護実習 事前訪問リレーション(2年)

5/19(金) 介護実習 事前訪問

5/22(月) 介護実技試験(2年)

6/23(金)~7/28(金) 介護実習 (2年)

社会福祉学科

4/17(月) 実習前知識試験(3年)

5/24(月) 社会福祉士学内模擬試験(4年)

6/12(月)~7/14(金) 相談援助実習(3年)

6/12(月)~6/29(木) 精神保健福祉援助実習(4年)

介護福祉学科

4/17(月) 介護福祉士学内模擬試験(2年)

保育未来学科

4/12(水) 1年生を迎える会

4/26(水) 普通救命講習(1年)

5/10(水) 劇団えりっこ観劇

5/17(水) 防災センター見学(1年)

6/5(月)~17(土) 保育実習 (2年)

精神保健福祉学科

4/11(火) 施設見学

4/18、25(火) 卒業生講話

5/16、23(火) 見学実習

6/6、20(火) 卒業生講話

6/27(火) 見学実習

【編集後記】

去る3月7日(火)に卒業式が行われ、4学科5課程の学生が卒業した。その日に行われた卒業祝賀会で、卒業生と初めてお酒を酌み交わし、1~4年間の学校生活を思い出しながら楽しい時間を過ごした。学生によっては4月から仕事開始の人もいれば、3月中に始まる人もいる。それぞれの学科で学んだ専門知識と技術を活用して、社会人として一つ一つ吸収し、成長していくことを願っている。一社会人として、私自身も襟を正して新年度を迎えたい。(岩)

発行元

専門学校北海道福祉大学校 学校新聞委員会

所在地：札幌市中央区南3条西1丁目15番地

電話：011-272-6085

http://www.yoshida-fukushi.jp

スナップショット



イリーゼ札幌南三条でのレクリエーションの一コマ



国家試験後のボウリング大会でポーズ



姉妹保育園の子ども達と共に「伝承あそびと発達」授業風景

国家試験のご報告

社会福祉学科・精神保健福祉学科

学科長 定平 憲之

去る3月15日に、社会福祉士及び精神保健福祉士の国家試験の合格発表がありました。

社会福祉学科(4年制)は、社会福祉士58.8%(全国合格率25.8%)、精神保健福祉士70.6%(全国合格率62%)と、高い合格率を達成することができました。特に社会福祉士につきましては、道内の大学を含む養成校の中でもトップの成績を収めることができました。また、精神保健福祉学科(1年制)につきましても、精神保健福祉士87.5%(全国合格率62%)と、非常に優秀な成績を残しております。

皆様へのご報告とともに、卒業生の活躍を期待しております。

や節分、雪明りなどの季節の行事を体験し、楽しい瞬間を子ども達と共有できたことも嬉しかったです。今回の実習で学んだことを活かして、6月の実習で、また成長した子ども達に会えることを楽しみに、これからも勉強や学校生活を頑張っていきたいと思っております。